



# 参照

## NetApp Data Classification

NetApp  
January 14, 2026

# 目次

|   |   |
|---|---|
| 参照  | 1 |
| サポートされているNetApp Data Classificationインスタンスタイプ  | 1 |
| AWSインスタンスタイプ                                  | 1 |
| Azureインスタンスの種類                                | 1 |
| GCPインスタンスタイプ                                  | 1 |
| NetApp Data Classificationのデータソースから収集されたメタデータ | 2 |
| 最終アクセス時間のタイムスタンプ                              | 2 |
| NetApp Data Classificationシステムにログインする         | 3 |
| NetApp Data ClassificationAPI                 | 4 |
| 概要  | 4 |
| Swagger APIリファレンスへのアクセス                       | 5 |
| APIの使用例                                       | 5 |

# 参照

## サポートされているNetApp Data Classificationインスタンスタイプ

NetApp Data Classificationソフトウェアは、特定のオペレーティングシステム要件、RAM要件、ソフトウェア要件などを満たすホスト上で実行する必要があります。クラウドでデータ分類を展開する場合は、完全な機能を実現するために「大規模」特性を持つシステムを使用することをお勧めします。

CPU数とRAM数が少ないシステムでもデータ分類を展開できますが、これらの非力なシステムを使用する場合はいくつかの制限があります。["これらの制限について学ぶ"](#)。

次の表で、「デフォルト」とマークされているシステムが、Data Classificationをインストールするリージョンで使用できない場合は、表の次のシステムが展開されます。

### AWSインスタンスタイプ

| システムサイズ | 仕様                                     | インスタンスタイプ  |
|---------|--|--|
| 特大      | 32 個の CPU、128 GB の RAM、1 TiB の gp3 SSD | "m6i.8xlarge" (デフォルト)  |
| 大規模     | 16 CPU、64 GB RAM、500 GiB SSD           | "m6i.4xlarge"(デフォルト)<br>m6a.4xlarge m5a.4xlarge<br>m5.4xlarge m4.4xlarge |
| 中       | 8 CPU、32 GB RAM、200 GiB SSD            | "m6i.2xlarge"(デフォルト)<br>m6a.2xlarge m5a.2xlarge<br>m5.2xlarge m4.2xlarge |
| 小規模     | 8 CPU、16 GB RAM、100 GiB SSD            | "c6a.2xlarge"(デフォルト)<br>c5a.2xlarge c5.2xlarge c4.2xlarge                |

### Azureインスタンスの種類

| システムサイズ | 仕様  | インスタンスタイプ            |
|---------|---|----------------------|
| 特大      | 32 個の CPU、128 GB の RAM、OS ディスク (2,048 GiB、最小 250 MB/秒のスループット)、およびデータディスク (1 TiB SSD、最小 750 MB/秒のスループット) | "標準_D32_v3" (デフォルト)  |
| 大規模     | 16 CPU、64 GB RAM、500 GiB SSD  | "標準_D16s_v3" (デフォルト) |

### GCPインスタンスタイプ

| システムサイズ | 仕様                           | インスタンスタイプ  |
|---------|------------------------------|--|
| 大規模     | 16 CPU、64 GB RAM、500 GiB SSD | "n2-標準-16"(デフォルト) n2d-standard-16 n1-standard-16 |

## NetApp Data Classificationのデータソースから収集されたメタデータ

NetApp Data Classification は、データソースおよびシステムからのデータの分類スキャンを実行するときに、特定のメタデータを収集します。データ分類では、データを分類するために必要なメタデータのほとんどにアクセスできますが、必要なデータにアクセスできないソースもいくつかあります。

|         | メタデータ         | CIFS  | NFS   |
|---------|---------------|---|---|
| タイムスタンプ | 作成時間          | 利用可能  | 利用できません (Linuxではサポートされていません)  |
|         | 最終アクセス時間      | 利用可能  | 利用可能  |
|         | 最終更新日時        | 利用可能  | 利用可能  |
| 権限      | オープン権限        | 「EVERYONE」グループがファイルにアクセスできる場合、そのファイルは「組織に公開」されているとみなされます。 | 「その他」がファイルにアクセスできる場合、そのファイルは「組織に公開」されないとみなされます。                         |
|         | ユーザー/グループアクセス | ユーザーとグループの情報はLDAPから取得されます                                 | 利用できません (NFS ユーザーは通常、サーバー上でローカルに管理されるため、同じユーザーが各サーバーで異なる UIDを持つことができます) |

- データ分類では、データベースデータソースから「最終アクセス時刻」を抽出しません。
- 古いバージョンの Windows OS (Windows 7 や Windows 8 など) では、システムパフォーマンスに影響を及ぼす可能性があるため、「最終アクセス時刻」属性の収集がデフォルトで無効になっています。この属性が収集されない場合、「最終アクセス時刻」に基づくデータ分類分析に影響が出ます。必要に応じて、これらの古い Windows システムでの最終アクセス時刻の収集を有効にすることができます。

### 最終アクセス時間のタイムスタンプ

データ分類がファイル共有からデータを抽出すると、オペレーティングシステムはそれをデータへのアクセスと見なし、それに応じて「最終アクセス時刻」を変更します。スキャン後、データ分類は最終アクセス時刻を元のタイムスタンプに戻そうとします。データ分類に CIFS での属性書き込み権限または NFS での書き込み権限がない場合、システムは最終アクセス時刻を元のタイムスタンプに戻すことができません。SnapLock が設定されたONTAPボリュームには読み取り専用権限があり、最終アクセス時刻を元のタイムスタンプに戻すこともできません。

デフォルトでは、データ分類にこれらの権限がない場合、データ分類は「最終アクセス時刻」を元のタイムスタンプに戻すことができないため、システムはボリューム内のこれらのファイルをスキャンしません。ただし、ファイルの最終アクセス時刻が元の時刻にリセットされても構わない場合は、構成ページの下部にある「属性の書き込み」権限がない場合にスキャンするスイッチを選択して、権限に関係なくデータ分類がボリュームをスキャンするようにすることができます。

The screenshot shows the 'SMB\_Shares Scan Configuration' interface. At the top, it says '2 Shares selected'. Below that is a toggle switch labeled 'Scan when missing "write" permissions'. The main area displays a table with two rows of share information:

| Scan   | Storage Repository (Share)     | Protocol | Access                | Scan Status                      | Required Action |
|--|--------------------------------|----------|-----------------------|----------------------------------|-----------------|
| <a href="#">Map</a> <a href="#">Map &amp; Classify</a> | \\"10.1.7.16\\CIFS_LABS_SHARE6 | CIFS     | Continuously Scanning | Mapped: 5.8K<br>Classified: 5.8K | ...             |
| <a href="#">Map</a> <a href="#">Map &amp; Classify</a> | \\"10.1.7.16\\CIFS_LABS_SHARE7 | CIFS     | Continuously Scanning | Mapped: 5.8K<br>Classified: 5.8K | ...             |

この機能は、オンプレミスのONTAPシステム、Cloud Volumes ONTAP、Azure NetApp Files、Amazon FSx for NetApp ONTAP管理、およびサードパーティのファイル共有に適用できます。

調査ページには、「スキャン分析イベント」というフィルターがあり、これを使用すると、データ分類で最終アクセス時刻を戻せなかったために分類されなかったファイル、またはデータ分類で最終アクセス時刻を戻せなかったにもかかわらず分類されたファイルを表示できます。

The screenshot shows the 'Scan Analysis Event' filter interface. It has a count of '1' in a blue circle. Below it are two filter options:

- Not classified - Cannot revert last access
- Classified and changed last access time

フィルターの選択肢は次のとおりです。

- 「未分類 - 最終アクセス時間を戻すことができません」 - 書き込み権限がないため分類されなかったファイルが表示されます。
- 「分類され、更新された最終アクセス時刻」 - 分類されたファイルが表示され、データ分類では最終アクセス時刻を元の日付にリセットできませんでした。このフィルターは、\*「属性の書き込み」権限がない場合にスキャン\*をオンにした環境にのみ関連します。

必要に応じて、これらの結果をレポートにエクスポートして、権限によりスキャンされているファイルとスキャンされていないファイルを確認できます。["データ調査レポートの詳細"](#)。

## NetApp Data Classificationシステムにログインする

ログ ファイルにアクセスしたり、構成ファイルを編集したりするには、NetApp Data Classificationシステムにログインする必要があります。

Data Classification がオンプレミスの Linux マシンまたはクラウドに展開した Linux マシンにインストールされている場合は、構成ファイルとスクリプトに直接アクセスできます。

Data Classification をクラウドにデプロイする場合は、Data Classification インスタンスに SSH で接続する必要があります。ユーザー名とパスワードを入力するか、コンソール エージェントのインストール時に指定し

た SSH キーを使用して、システムに SSH 接続します。SSH コマンドは次のとおりです。

```
ssh -i <path_to_the_ssh_key> <machine_user>@<datasense_ip>
```

- <path\_to\_the\_ssh\_key>= SSH認証キーの場所
- <machine\_user>:
  - AWSの場合: <ec2-user> を使用します
  - Azureの場合: コンソールインスタンス用に作成されたユーザーを使用します
  - GCPの場合: コンソールインスタンス用に作成されたユーザーを使用します
- <datasense\_ip>= 仮想マシンインスタンスのIPアドレス

クラウド内のシステムにアクセスするには、セキュリティ グループの受信ルールを変更する必要があります。詳細については、以下を参照してください。

- "AWSのセキュリティグループルール"
- "Azure のセキュリティ グループ ルール"
- "Google Cloud のファイアウォール ルール"

## NetApp Data ClassificationAPI

Web UI を通じて利用できるNetApp Data Classification機能は、REST API を通じても利用できます。

データ分類内には、UI のタブに対応する 4 つのカテゴリが定義されています。

- 調査
- コンプライアンス
- ガバナンス
- 構成

Swagger ドキュメントの API を使用すると、検索、データの集約、スキャンの追跡、コピー、移動、削除などのアクションを実行できます。

### 概要

API を使用すると、次の機能を実行できます。

- 輸出情報
  - UI で利用できるものはすべて API 経由でエクスポートできます (レポートを除く)
  - データは JSON 形式でエクスポートされます (簡単に解析でき、Splunk などのサードパーティ アプリケーションにプッシュできます)
- 「AND」および「OR」ステートメントを使用してクエリを作成し、情報を含めたり除外したりします。

たとえば、特定の個人識別情報 (PII) を含まないファイルを見つけることができます (UI では機能は使用で

きません)。エクスポート操作から特定のフィールドを除外することもできます。

- アクションを実行する
  - CIFSクレデンシャルの更新
  - アクションの表示とキャンセル
  - ディレクトリを再スキヤン
  - データをエクスポートする

API は安全で、UI と同じ認証方法を使用します。認証に関する情報は、"REST API ドキュメント"。

## Swagger APIリファレンスへのアクセス

Swagger にアクセスするには、データ分類インスタンスの IP アドレスが必要です。クラウド展開の場合は、パブリック IP アドレスを使用します。次に、このエンドポイントにアクセスする必要があります。

<https://<分類IP>/documentation>

## APIの使用例

次の例は、ファイルをコピーするための API 呼び出しを示しています。

### API 要求

調査タブですべてのフィルターを表示するには、最初にシステムの関連するフィールドとオプションをすべて取得する必要があります。

```
curl -X GET "http://{classification_ip}/api/{classification_version}/search/options?data_mode=ALL_EXTRACTABLE" -H "accept: application/json" -H "Authorization: Bearer eyJhbGciOiJSUzI1NiIsInR....." -H "x-agent-id: hOXsZNvnA5LsthwMILtjL9xZFYBQxAwMclients"
```

### 応答

```
{  
  "options": [  
    {  
      "active_directory_affected": false,  
      "data_mode": "ALL_SCANNED",  
      "field": "string",  
      "is_rulable": true,  
      "name": "string",  
      "operators": [  
        "EQUALS"  
      ],  
      "optional_values": [  
        {}  
      ]  
    }  
  ]  
}
```

```

        "secondary": {},
        "server_data": false,
        "type": "TEXT"
    },
]
}
{
"options": [
{
    "active_directory_affected": false,
    "data_mode": "ALL_EXTRACTABLE",
    "field": "POLICIES",
    "name": "Policies",
    "operators": [
        "IN",
        "NOT_IN"
    ],
    "server_data": true,
    "type": "SELECT"
},
{
    "active_directory_affected": false,
    "data_mode": "ALL_EXTRACTABLE",
    "field": "EXTRACTION_STATUS_RANGE",
    "name": "Scan Analysis Status",
    "operators": [
        "IN"
    ],
    "server_data": true,
    "type": "SELECT"
},
{
    "active_directory_affected": false,
    "data_mode": "ALL_FILESYSTEM_EXTRACTABLE",
    "field": "SCAN_ANALYSIS_ERROR",
    "name": "Scan Analysis Event",
    "operators": [
        "IN"
    ],
    "server_data": true,
    "type": "SELECT"
},
{
    "active_directory_affected": false,
    "data_mode": "ALL_FILESYSTEM_EXTRACTABLE",
    "field": "PUBLIC_ACCESS",

```

```

    "name": "Open Permissions",
    "operators": [
        "IN",
        "NOT_IN"
    ],
    "server_data": true,
    "type": "SELECT"
},
{
    "active_directory_affected": true,
    "data_mode": "ALL_FILESYSTEM_EXTRACTABLE",
    "field": "USERS_PERMISSIONS_COUNT_RANGE",
    "name": "Number of Users with Access",
    "operators": [
        "IN",
        "NOT_IN"
    ],
    "server_data": true,
    "type": "SELECT"
},
{
    "active_directory_affected": true,
    "data_mode": "ALL_FILESYSTEM_EXTRACTABLE",
    "field": "USER_GROUP_PERMISSIONS",
    "name": "User / Group Permissions",
    "operators": [
        "IN"
    ],
    "server_data": true,
    "type": "SELECT"
},
{
    "active_directory_affected": false,
    "data_mode": "ALL_FILESYSTEM_EXTRACTABLE",
    "field": "FILE_OWNER",
    "name": "File Owner",
    "operators": [
        "EQUALS",
        "CONTAINS"
    ],
    "server_data": true,
    "type": "TEXT"
},
{
    "active_directory_affected": false,
    "data_mode": "ALL_EXTRACTABLE",

```

```

    "field": "ENVIRONMENT_TYPE",
    "name": "system-type",
    "operators": [
        "IN",
        "NOT_IN"
    ],
    "server_data": true,
    "type": "SELECT"
},
{
    "active_directory_affected": false,
    "data_mode": "ALL_EXTRACTABLE",
    "field": "ENVIRONMENT",
    "name": "system",
    "operators": [
        "IN",
        "NOT_IN"
    ],
    "server_data": true,
    "type": "SELECT"
},
{
    "active_directory_affected": false,
    "data_mode": "ALL_SCANNED",
    "field": "SCAN_TASK",
    "name": "Storage Repository",
    "operators": [
        "IN",
        "NOT_IN"
    ],
    "server_data": true,
    "type": "SELECT"
},
{
    "active_directory_affected": false,
    "data_mode": "ALL_FILESYSTEM_EXTRACTABLE",
    "field": "FILE_PATH",
    "name": "File / Directory Path",
    "operators": [
        "MULTI_CONTAINS",
        "MULTI_EXCLUDE"
    ],
    "server_data": true,
    "type": "MULTI_TEXT"
},
{

```

```
"active_directory_affected": false,
"data_mode": "ALL_DASHBOARD_EXTRACTABLE",
"field": "CATEGORY",
"name": "Category",
"operators": [
    "IN",
    "NOT_IN"
],
"server_data": true,
"type": "SELECT"
},
{
    "active_directory_affected": false,
    "data_mode": "ALL_EXTRACTABLE",
    "field": "PATTERN_SENSITIVITY_LEVEL",
    "name": "Sensitivity Level",
    "operators": [
        "IN"
    ],
    "server_data": true,
    "type": "SELECT"
},
{
    "active_directory_affected": false,
    "data_mode": "ALL_FILESYSTEM_EXTRACTABLE",
    "field": "NUMBER_OF_IDENTIFIER",
    "name": "Number of identifiers",
    "operators": [
        "IN",
        "NOT_IN"
],
    "server_data": true,
    "type": "SELECT"
},
{
    "active_directory_affected": false,
    "data_mode": "ALL_EXTRACTABLE",
    "field": "PATTERN_PERSONAL",
    "name": "Personal Data",
    "operators": [
        "IN",
        "NOT_IN"
],
    "server_data": true,
    "type": "SELECT"
},
```



```
"type": "SELECT"
},
{
  "active_directory_affected": false,
  "data_mode": "ALL_EXTRACTABLE",
  "field": "FILE_SIZE_RANGE",
  "name": "File Size",
  "operators": [
    "IN",
    "NOT_IN"
  ],
  "server_data": true,
  "type": "SELECT"
},
{
  "active_directory_affected": false,
  "data_mode": "ALL_FILESYSTEM_EXTRACTABLE",
  "field": "FILE_CREATION_RANGE_RETENTION",
  "name": "Created Time",
  "operators": [
    "IN"
  ],
  "server_data": true,
  "type": "SELECT"
},
{
  "active_directory_affected": false,
  "data_mode": "ALL_EXTRACTABLE",
  "field": "DISCOVERED_TIME_RANGE",
  "name": "Discovered Time",
  "operators": [
    "IN"
  ],
  "server_data": true,
  "type": "SELECT"
},
{
  "active_directory_affected": false,
  "data_mode": "ALL_FILESYSTEM_EXTRACTABLE",
  "field": "FILE_LAST_MODIFICATION_RETENTION",
  "name": "Last Modified",
  "operators": [
    "IN"
  ],
  "server_data": true,
  "type": "SELECT"
}
```

```
},
{
  "active_directory_affected": false,
  "data_mode": "ALL_FILESYSTEM_EXTRACTABLE",
  "field": "FILE_LAST_ACCESS_RANGE_RETENTION",
  "name": "Last Accessed",
  "operators": [
    "IN"
  ],
  "server_data": true,
  "type": "SELECT"
},
{
  "active_directory_affected": false,
  "data_mode": "FILES",
  "field": "IS_DUPLICATE",
  "name": "Duplicates",
  "operators": [
    "EQUALS",
    "IN"
  ],
  "server_data": true,
  "type": "SELECT"
},
{
  "active_directory_affected": false,
  "data_mode": "FILES",
  "field": "FILE_HASH",
  "name": "File Hash",
  "operators": [
    "EQUALS",
    "IN"
  ],
  "server_data": true,
  "type": "TEXT"
},
{
  "active_directory_affected": false,
  "data_mode": "ALL_EXTRACTABLE",
  "field": "USER_DEFINED_STATUS",
  "name": "Tags",
  "operators": [
    "IN",
    "NOT_IN"
  ],
  "server_data": true,
```

```

    "type": "SELECT"
},
{
  "active_directory_affected": false,
  "data_mode": "ALL_EXTRACTABLE",
  "field": "ASSIGNED_TO",
  "name": "Assigned to",
  "operators": [
    "IN",
    "NOT_IN"
  ],
  "server_data": true,
  "type": "SELECT"
}
]
}

```

リクエストパラメータでその応答を使用して、コピーする目的のファイルをフィルタリングします。

複数のアイテムにアクションを適用できます。サポートされているアクション タイプには、移動、削除、コピーなどがあります。

コピーアクションを作成します。

## API 要求

次の API はアクション API であり、複数のアクションを作成できます。

```

curl -X POST "http://
{classification_ip}/api//{classification_version}/actions" -H "accept:
application/json" -H "Authorization: Bearer eyJhbGciOiJSUzI1NiIsInR......." "
-H "x-agent-id: h0XsZNvnA5LsthwMILtjL9xZFYBQxAwMclients" -H "Content-
Type: application/json" -d "{ \"action_type\": \"COPY\", \"data_mode\":
\"FILES\", \"policy_id\": 0, \"request_params\": { destination_nfs_path:
\"{ontap_ip}:{share_name} \" },
\"requested_query\":{\"condition\":\"AND\", \"rules\":[{\"field\":\"ENVIRONMENT_TYPE
\", \"operator\":\"IN\", \"value\":[\"ONPREM\"]}, {\"field\":\"CATEGORY\", \"operator\":\"IN\",
\"value\":[\"21\"]}]}}"

```

## 応答

応答ではアクション オブジェクトが返されるため、get および delete API を使用してアクションのステータスを取得したり、アクションをキャンセルしたりできます。

```
{  
    "action_type": "COPY",  
    "creation_time": "2023-08-08T12:37:21.705Z",  
    "data_mode": "FILES",  
    "end_time": "2023-08-08T12:37:21.705Z",  
    "estimated_time_to_complete": 0,  
    "id": 0,  
    "policy_id": 0,  
    "policy_name": "string",  
    "priority": 0,  
    "request_params": {},  
    "requested_query": {},  
    "result": {  
        "error_message": "string",  
        "failed": 0,  
        "in_progress": 0,  
        "succeeded": 0,  
        "total": 0  
    },  
    "start_time": "2023-08-08T12:37:21.705Z",  
    "status": "QUEUED",  
    "title": "string",  
    "user_id": "string"  
}
```

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。